

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 中央区 日本橋 室町 4-4-10, 東短ビル5階
TEL 03-5200-1710
FAX 03-5200-3369



お客様各位

いつも大変お世話になっております。ナットソース・ジャパンでございます。

今月は、まず弊社のオフィス移転に就きましてご連絡させていただきます。現在入居しております日本橋の「東短ビル」が立替え工事を行うこととなり、これに伴って弊社は8月28日(月)より下記住所に移転することとなりました。所在地だけではなく電話番号ならびにFAX番号が変更になりますので御手数ではございますがお手元のアドレス帖を変更して頂けると有り難く存じます。なお、各スタッフの電子メールアドレスは従来通りでございます。

新オフィス所在および電話番号

〒102 - 0084

東京都千代田区二番町6番地3 二番町三協ビル4階

代表電話： 03-**5275**-1710

FAX： 03-5275-1738

アドバイザーユニット：03-5275-1711

トランザクションユニット

排出権チーム : 03-5275-1712

電力・RPSチーム : 03-5275-1713

天候チーム : 03-5275-1714

では、今月もニュースレター (NJL9月号) のご案内をさせて頂く時期になりました。本誌をご購読頂いておりますお客様へは、今週25日(金)に電子メールを介しての配信を予定致しておりますので宜しくお願い致します。

- ・ 国連のCDM登録簿内に発行されたCERsの数量が現在までに1,100万トンに迫ってきました。このクレジットを受取り、保有するための登録簿の開設の準備もそろそろ視野に入れておくべきと思います。そこで今回は、ようやく外枠となる法律が整備された日本の国別登録簿である割当量口座簿の行く末を占う意味でも参考となると考えられる、EU各国の国別登録簿の口座開設・維持費用に関する実態を弊社の春田と大谷よりご報告させていただきます。

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 中央区 日本橋 室町 4-4-10, 東短ビル5階
TEL 03-5200-1710
FAX 03-5200-3369



- ・ 7月19日から開催された CDM 理事会第 25 回会合において新たに 4 つのベースライン及びモニタリング方法論が承認されました。その中の一つに、“快速バス運輸システム事業に関する方法論 (AM0031)”があり、本件は運輸交通分野で最初の承認方法論となるために非常に注目されているものです。そこで、今回はこの運輸交通分野の CDM に焦点をあて、今後の課題などと合わせて弊社の井筒よりご報告させていただきます。
- ・ 前回 8 月号から「京都メカニズムの基本」を分かり易くお伝えすることを目的として“京都メカニズム教室”をスタートさせて頂き、第 1 回目は「京都議定書とは何？」と題して気候変動枠組条約と京都議定書について説明させて頂きました。今回は「京都メカニズムとは何？」と題し、京都メカニズムが生まれた背景や利点などと併せてご弊社長谷川よりご紹介させていただきます。

NJL では、排出権、卸電力、RPS などの話題を採り上げ、弊社なりの視点でご報告させて頂いております。各種取引または当社サービスにつきましてのご質問、ご相談などがございます際には、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

下記 URL より過去の NJL の目次を確認することが可能です。

http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents_2005.html

また、お申し込みはこちら よりお願い致します。

<http://www.natsourcejapan.com/njletter/index.html>

ナットソース・ジャパン・レターに関するお問合せは、

njl@natsourcejapan.com または 03-5200-1710 (津金) までお願い致します。

今後とも宜しくお願い致します。